

2015年6月11日

広聴広報報告書

1. とき 2015年6月7日
2. 場所 相生コミュニティセンター
3. 参加者 田口かずと、さはしあこ、他会派の議員ら
4. 主な内容

目的は、市道弥富相生山線を考える市民の会主催による「集い～これからの相生山～」にて、今後の相生山について意見交換。

主催者側から弥富相生山線廃止に至る経緯、名古屋市による世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議の立ち上げについてなどの報告がされる。

質疑、意見等が出される。

市民から出された質問や意見。

- ・相生山緑地における現在のホタルの生息地は？
- ・相生山緑地内に市有地及び民有地の割合は？
- ・エコパークなどにしたらどうか。あるいは、自然の傾斜を利用した観客席をつくり、合唱などを生で聞ける野外コンサートを開いたらどうかなどの提案。
- ・今のままで緑地を維持する。道路の入り込みをまず解決する。
- ・若いお母さんたちの意見で、今の緑地のままで子どもたちを遊ばせたい。今のままの森を良くしていけばいいのでは。
- ・橋げたを取ってほしい。小中学生や学童で使えるように。
- ・生物多様性の観点から、自然を残しつつユニバーサルデザインで整備。

さはし議員：市長はすでに相生山についての考えを示している。そのうえで、市長の提案を具体化する検討会議が開かれる。その中には、市民への説明・市民意見の聴取とはあるが、市長の考えをベースとするのではなく、住民の意見から作り上げていくことが大切である。

田口議員：緑地の整備だけの問題ではなく、これからのまちづくりを進めるうえで、包括的に考えていく必要がある。



以上